

毎週日曜発行
2020 1/19

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

バドミントン女子ダブルスは、2012年ロンドン、16年リオデジャネイロと東北ゆかりの選手が、2大会続けてメダルを獲得したんだ。秋田市にある北都銀行所属の永原和可那(24)、松本麻佑選手(24)組「通称「ナガマツペア」」は、この流れに続くと期待されているよ。

永原和可那選手(24)

松本麻佑選手(24)

バドミントン女子ダブルス

北都銀行(秋田市)

勢いをつなげたいところですよ。

令和での躍動誓う 東京五輪

五輪代表の座を懸けた激しい争いが続いています。昨年12月の世界ランキングでは日本勢が2、4位を占め、ナガマツペアは3位。日本の出場枠は最大2で、このまま

昨年11月末、12月の全日本総合選手権では、リオ五輪金メダリスト高橋礼華、松友美佐紀選手組(日本ユニシス、宮城・



強烈なスマッシュで攻撃

聖ウルスラ学院英智高(出)の「タカマツペア」らを倒し初優勝。タカマツペアを下した後、松本選手は「ここで勝てた

のは大きな自信になる」と手応えを語りました。170センチ以上の長身を生かした攻撃力が持ち味。高い位置から打ち下

ろす強烈なスマッシュで、世界のライバルの堅い守りをねじ伏せます。2年前は代表4番手でしたが、急成長しました。

まだまだ続く激しい代表争い。3大会連続のメダルにつながれば最高だよ。



昨年の全日本総合選手権で初優勝を飾った永原(左)、松本選手の「ナガマツペア」。準決勝では、リオ五輪金メダルの「タカマツペア」を破った＝東京・駒沢体育館

ながはら・わか那 1996年北海道出身。青森山田高卒。170センチ。24歳。まつもと・まゆ 95年北海道出身。177センチ。24歳。

18年8月の世界選手権で、日本勢41年ぶりの金メダルを獲得。19年に一時、世界ランキング1位になり、世界選手権2連覇も果たしました。自分たちと似た攻撃的な韓国勢には、このところ苦戦しています。気迫に気後れするそうで、松本選手は「最後まで気持ちを切らさず戦えるかどうか」と課題を口にします。

代表選考レースは4月まで。「(日本勢が)お互いに引っ張り合える関係になれたらいい」と永原選手は話します。競い合うことでさらにレベルを上げ、代表の座を勝ち取ることを目指します。



今週の注目ニュース

◇19日(日) お年玉付き年賀はがきの抽せん(東京)

東京オリンピック・パラリンピックのエンブレム入りはがきは、特等賞品としてオリンピックの開会式や閉会式のペアチケットがあるよ。

◇25日(土) アニー賞の発表(アメリカ・ロサンゼルス)

新海誠監督の「天気の子」が長編インディペンデント作品賞など4部門で候補になったよ。昨年の「未来のミライ」に続く日本作品受賞となるか注目だね。

きょうの紙面

2 ギモンにこたえるモン

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 投稿特集